

水道業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	2	12~13	業務の為伺った際に雨でマンションの床が濡れていて足を滑らし段差から落ちた。その際、右足首から音が出て時間とともに腫れてきた。	52	413	1	10 ~ 29
2017	4	14~15	水処理棟点検作業に向かうため入口で自転車を降りようとして右足を上げた際に、作業ズボンがサドルに引っ掛かり自転車と共に左方向に倒れ込み、右足の膝下腿あたりを地面に強打した。	57	362	2	50 ~ 99
2017	4	10~11	空気弁の鉄蓋をこじ開けて、鉄蓋と蓋枠の間に隙間をつくり、右手で鉄蓋を支えて開けようとしたが、鉄蓋が思いのほか重かったため支えきれず、鉄蓋と蓋枠との間に指を挟み被災した。	42	611	7	10 ~ 29
2017	7	9~10	沈砂設備へフォークリフトで道具を運ぶ際、道具を降ろす作業をするため、運転手の他のフォークリフト脇に被災者が立ち乗りをしていた。到着直前に右転回移動中、被災者がフォークリフトから飛び降りたところ、フォークリフトの左後輪に右足甲を轢かれた。	46	222	6	10 ~ 29
2017	9	9~10	出口手前300mで渋滞最後尾で停車中に後方の車両が追突（相手方が携帯を見ながらの不注意運転）事故である。	42	231	17	100 ~ 299
2017	11	16~17	中央処理場内、合流沈砂池において、水中ポンプ用電気ケーブル接続作業中移動の際、床面の段差に躓き転倒したものである。（翌朝に左足首に腫れと痛みがあるため受診した。）	66	417	2	50 ~ 99

2017	12	13~14	定期点検を行っていた際に、傾斜板沈殿池で足を踏み外して転落した。傾斜板沈殿池には転落防止の柵はなく、被災者は転落後、傾斜板沈殿池から上がろうと試み、設置してある梯子方面に泳いだが、途中で力尽き、溺水した（監視カメラ映像によるもの）。	61	418	10	10 ~ 29
------	----	-------	--	----	-----	----	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html